要するに本年度の大会では、此の政治部其の議案が中心となって現實派と共産派との暗闘であった
大会の方向 分合は、表面政治部長に對し徹底的斷續が共産派から出た
機関紙に對して利権問題に進機械の凹凸より手段っ賤い問其の外鈴木会長更迭など對し共産派より旺んに攻撃質問がなされた
方普團は、甚だ陰悪なる所行を以て現實派から共産派に對して排斥の策謀を巡らした
労働運動の戦線を亂すものとなし共産派排斥の緊急動議提出まで進むこととした
三日目午后二時より再会さるべき大会は漸く前向



も運進したのは二の共産派現實派の暗闘の結果である、昨年十件の関西東同盟分裂騒ぎの如き氣運は、京都大阪神戸等にも根強く醸生されて初めてあるらしい。大会終了後会長就任の挨拶及び本中出委員の挨拶の如きは此の思想的對立に對して或る強い決意を持って居る事を言外に含ましておるのは共産派に對する宣戦布告とも見られる。

## △大會後の状況

此の思想的對立の暗闘は愈々激しくなり
共産派では、現實派の方で廿七日中央委員